

opusdei.org

# 属人区長のメッセージ （2021年2月20 日）

四旬節の始まりにあたり、オカリス神父は、断食と清貧の道をたどり、キリストとの一致を目指すよう呼びかけます。

2021/02/20

愛する皆さんへ。イエスが私の子どもたちをお守りくださいますように！

イエスが砂漠で過ごされた40日間を  
思い出す、聖週間の準備である四旬  
節が始まりました。ご自身の断食と  
誘惑の体験を通して、神だけで足り  
ることを主は示しています。四旬節  
における断食、施し、祈りの実践に  
よって、私たちは主の示されたその  
現実を再び生きることができるで  
しょう。

断食を通して、私たちは清貧という  
道をとってキリストと同化すること  
を追求します。「放棄する体験と  
しての断食は、純粋な気持ちでそれ  
を行う人が、神の恵みにあらためて  
気づけるようにし、さらには、自分  
たちは神に似せてかたどられた被造  
物であり、神において充足を見いだ  
すということを理解できるようにし  
ます」（教皇フランシスコ、2021年  
四旬節教皇メッセージ）。

周知のように、清貧の徳の美しさ  
は、創造された善をしりぞけること

にあるのではなく、それらの善が神のご計画に入らないときに人が経験する無秩序をしりぞけることにあります。清貧は、被造物や物的なものの本来の善さを示し想起させます。また、清貧は、被造物からの離脱とは、「心が創造されたものには満足せず、創造主を熱望していることの表れ（Conversaciones, n. 110）であることを、明確にするのです。

神から託された使命を遂行する上で、使用している物的なものがどのように役立っているかを明らかにし自己の心を糾明するために、この四旬節は絶好の機会といえるでしょう。そうすれば、役立っていないものをより簡単に手放すことができ、「枕する所」（ルカ9,58）も持たなかった主のように、軽やかに歩むことができるようになるでしょう。清貧によって、私たちは、神との一致と他者への奉仕の道としての価値を見出す限りにおいて、この世の事物

を評価することを学ぶでしょう。そして、その道に相応しくないものを、まさに今日、そして今、喜んで捨て去ることができるでしょう。

心からの愛情を込めて皆さんを祝福します。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2021年2月20日

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/messiji-zokujinkuchoul-2021-2-20/>  
(2026/02/01)